

このニュースは都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

2017年は雲取山 Year!

2017年は雲取イヤー！もう何回も耳にされた方も多いのではないのでしょうか？

日本百名山であり東京都最高峰の雲取山（2017.1 m）。8月を迎えてもその人気は衰えることを知りません。そこで、今月号は、雲取山にまつわる様々なトリビア（あれこれ）をご紹介します！！



雲取山の名前の由来

- ①雲表にそびえる高山で、「雲も取れそうだ」というところから。
- ②雨上がりの一時など、雲取山下の日原谷は雲海に覆われる。その形が「雲を抱き取っている」ように見えるため。
- ③この地域で「最も高い山なので雲に隠れやすい」、サルオガセなどが付いた幽玄な森林があることから名付けられた。

(参照文献：①②奥多摩町誌 民俗編③日本山名事典 三省堂)

雲取山の山頂標識

2016年8月11日、新たな国民の祝日「山の日」を記念して、東京都と埼玉県が山頂標識を統一！新しい標識は御影石でできていて、高さは標高にちなんで201.7センチとなっています。皆さん知ってましたか？！

雲取山避難小屋前から石尾根を見下ろす山並み



石尾根側から見上げた雲取山山頂と雲取山避難小屋



鎌仙人のレリーフ

鎌仙人

鎌仙人（かませんにな）富田治三郎氏
鎌仙人の富田治三郎氏は、初代雲取山荘の小屋番です。富田新道を鎌で切り開いたそうです。雲取山山頂直下にレリーフがあります。

あらいてるかず

雲取山荘の新井晃一さんにインタビュー

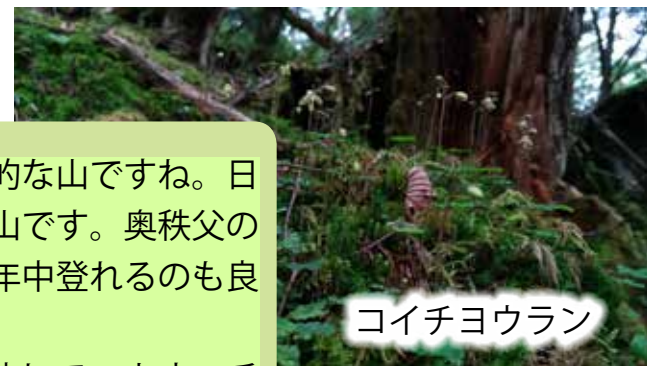


新井晃一さん

雲取山は、手軽に来られつつ登り応えもある魅力的な山ですね。日帰りでも来れるし、泊まりでも来れる距離にある山です。奥秩父の西の端であり、東京都の最高峰でもあります。一年中登れるのも良いですね。

2017年ということで、今年は多くの登山客が訪れています。手軽に来られるといっても、2000m級の山です。他の低山での足慣らしや、最低限の装備、きちんとした登山計画を立てて安全に登ってほしいと思います。天候や条件が悪ければ無理をしないで山行を中止して欲しいくらいです。雲取山は逃げませんから。

長年雲取山へ通ってきた中で、ホテイランという希少なランを見守り続けてきたのですが、14年前に小さな葉だけだったのが、今年初めて咲きました。ほかのと合わせて4株の開花が見られたのは最近の大きな喜びです。



コイチヨウラン



長年見守り続けたホテイランの花